

J R連合 N EWS

J R 産業に集う すべての仲間の J R 連合への 総結集を!!

2025 年度

No. 21

2025年9月10日

日本鉄道労働組合連合会

JR東海連合第43回定期大会

「第2次中長期目標 (2025 年度~2034 年度)」の幕開け! 違いを力に変える包摂的な運動を展開し組合員に寄り添う!

JR東海グループ労働組合連合会(JR東海連合)は、9月4日から5日にかけて高山市内で第43回定期大会を開催し、向こう1年間の活動方針を決定するとともに、新役員を選出した。大会にはJR連合から上村良成会長と今井孝治事務局長が参加したほか、レセプションにはグループ各社の代表も参集し懇談を行った。



鎌田会長

冒頭の挨拶で鎌田隆司会長(JR連合副会長・JR東海ユニオン中央執行委員長)は、新たな中長期目標に触れ「変化のないところに発展はない。組合員にとって身近な存在でいられるかは自分たち次

第だ」と決意を述べるとともに、対 等な労使関係に向けてさらなる結集 を訴えた。

JR連合を代表して挨拶した上村会長は、安全の確立、25春闘の成果と課題、組織と労使関係などについて方針を示し、「現場を知っていることがチェック機能の迫力を増す」と檄を発した。



上村会長



奥村事務局次長

議事では、榎硲文野事務局長(JR連合執行委員、 JR東海ユニオン中央執行委員)や、奥村敬弥事務局 次長(東海交通事業労組執行副委員長)から経過報告

や運動方針(案)などが提起された。 質疑では加盟する全23単組の代議員 から発言があり、各執行委員から中

間答弁を行った後、榎硲事務局長からは労働組合への参画意義を述べたうえで「違いを力に変え、私たちで運動さえも変えていこう」との総括答弁がなされ、全議案が満場一致で承認された。



榎硲事務局長